

令和4年度 入学式 式辞

本日、我が公立千歳科学技術大学の新生として、理工学部にて、260名の学部学生、理工学専攻には、31名の大学院学生を迎えられたことを大変喜ばしく思っております。新生の皆様、そして、ご関係者の皆さま、ご入学おめでとうございます。本学教職員を代表しまして、ご入学を心からお祝い申し上げます。

さらに本日は年度初めの大変お忙しい中、千歳市長 山口幸太郎様、千歳市議会議員 山崎 昌則様はじめ、ご関係の皆様にご臨席いただきました。あつく感謝申し上げます。

本来であれば、より多くの方々のご臨席のもと入学式を挙行し、皆様の入学をお祝いするところですが、新型コロナウイルス感染症の影響が、いまだに終息していない現段階では、関係者すべての健康を最優先に考え、列席者を抑えた、昨年と同様の形での入学式となりました。この度の措置についてご理解頂ければ幸いです。

本学は、令和元年度に公立大学法人となった、今年で4年目の公立大学です。前身である私立大学時代を含めても、今年で25年目となる新しい大学です。本学は、理工学の分野を専門とする単科大学となります。皆さんは、ここで、今まで知らなかった、あまり触れたこともなかった、多くの新しい学問分野に出会うこととなります。

最初に、本学の理念についてお話をさせていただきます。これは、教育・研究における、本学の根本的な考え方を意味します

一つは、高い知性とすぐれた人格を持つ人材を育成し、学術・産業の振興に貢献すること。もう一つは、地域との共生を通して、社会とともに発展する大学となることです。

この理念からわかるように、皆さんには、理工学における、幅広い分野の学問を学び、優れた研究成果をあげ、その内容を、社会に還元し、より豊かな世界の実現に向けて大きく貢献してほしいという思いが含まれています。また、地域との共生とは、大学における教育・研究・社会活動が、地域の発展に貢献し、皆さんも含めた我々すべてが、地域とともに成長したいという願いを意味します。

本学では、皆さんの将来のキャリア、つまり就職を含めたこれからの人生において必要となる、人文科学・社会科学・自然科学の基礎分野のほか、応用化学生

物学・電子光工学・情報システム工学などの専門分野を学びます。特に、これから学ぶ専門分野は、学術領域において今後ますます重要となる分野です。また、基礎分野の中では、情報科学の基本も学ぶことになります。情報科学を学ぶということは、パソコンで、文章や絵を自由に書くことができるようになるとか、複雑なゲームで、高得点を取るといったことではありません。情報の本質とは何かを学ぶことを意味します。

皆さんは、データサイエンスという言葉聞いたことがあるかと思います。ここでは、獲得できたデータを集計し、分析・解析し、それによって、新しく正しい知識を生み出してゆきます。

新しく正しい知識を生み出すのは、簡単ではありません。しかし、同時に、すべての学術領域にとって、非常に大切なことでもあります。皆さんは、この大学で、その基礎技術を学び、その難しさや大切さを知ったうえで、各自の専門分野を切り開いていただきたいと思います。従来の学問の枠組みのみにとらわれない、新しい技術、考え方を持った、次の世代の研究者・技術者になっていただきたいと希望しています。

実は、大学における生活とは、今お話をした、新しい学問を学ぶことだけではありません。自分の未来を考える良い時期ではないかと思います。例えば、自分にとって興味のある内容で、より深く学び、世界レベルの研究をやりたい。あるいは、価値観を共有できる友人を見出し、次の社会に必要となる会社と一緒に起業するなど、ここでは、様々な可能性が、皆さんの周りに存在します。自分は何をしたいのか、どんなものに興味があるのか、ぜひ考えてほしいと思います。

じっとしているだけでは、その可能性を見出すことも、実現することもできません。常に積極的に行動し、多少のつまずきや、失敗にもくじけず、何事にも、前向きな気持ちで取り組むことが大事です。

多くを学び、多くの友が得られるよう、そして大きな夢に向かって、のびのびと実り多い学生生活を送られることを祈っております。

本日は本当におめでとうございます。

令和4年4月2日
公立千歳科学技術大学長
宮永喜一